

議事4 今後の予定

ゾーニング報告書の 取り扱いについて

ゾーニング報告書の取り扱い

●ゾーニングの公表・周知

ゾーニングマップに基づいて保全エリアへの風力発電立地が確実に回避され、設定した導入容量の範囲で促進・調整エリアに適切に風力発電事業が導入されるよう、広く、風力発電事業を行おうとする者等への公表・周知を行う。

周知・活用方法

- ・ウェブサイトへの掲載(久慈市・環境省)
- ・久慈市が主催・共催する環境保全や温暖化対策関連イベントでの周知
- ・業界団体を通じた周知等
- ・風力発電事業を行おうとする事業者の問合せ対応

●フォローアップ

今後、久慈市沖海域での風力発電事業の計画(環境影響評価等など)がゾーニングマップに従って策定されているか、定期的に点検を行う。

●ゾーニングの見直し

新たな情報やこれまで把握しきれなかった情報が得られたり、風力発電事業における環境やインフラ、久慈沿岸域での自然環境の変化等、ゾーニングマップを構成する様々な要素の変化があったりしたことにより、ゾーニングの見直しが必要となった場合は、必要に応じて検討を行い更新を図る。

洋上風力導入に向けた 調査検討

洋上風力導入に向けた調査・検討

「浮体式洋上風力発電による地域の脱炭素化ビジネス促進事業」 (環境省地球温暖化対策課)

我が国における浮体式洋上風力発電の導入を加速するため、脱炭素化やエネルギーの地産地消を目指す先導的な地域において、浮体式洋上風力発電及び関連設備等を活用した事業化導入計画の策定など、全国に早期普及できるモデル構築のための調査を行う事業。



久慈市調査業務 内容

- ・業務の運営は久慈市企業立地港湾課を主体とし、検討委員会を組織して調査・検討を進める。
- ・事業実施期間は、令和2年度～令和5年度の4年間を予定する。
- ・調査項目は、資料調査及びゾーニング事業で得られた“漁業との協調を検討するエリア”において、基礎調査(鳥類、魚類、海生哺乳類)、海底地層・底質・地形調査、海象調査、風況調査の現地調査を実施する。
- ・調査結果に基づき、事業性・CO₂削減効果について検証する。

上記に加え

- ・地産地消に資する浮体式洋上風力発電及び関連設備等を活用した事業のあり方を検討する。
- ・調査・検討結果は、環境影響評価等や事業の検討に活用されるよう、発電事業者等に情報提供を行う。

事業化までのスケジュール(案)

事業実現までのロードマップイメージ (発電事業者)



浮体式洋上風力による地域の脱炭素化ビジネス促進事業委託業務

	20	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
基礎調査				
海象調査				
海底調査				
風況調査				
CO ₂ 削減効果検証				

情報提供

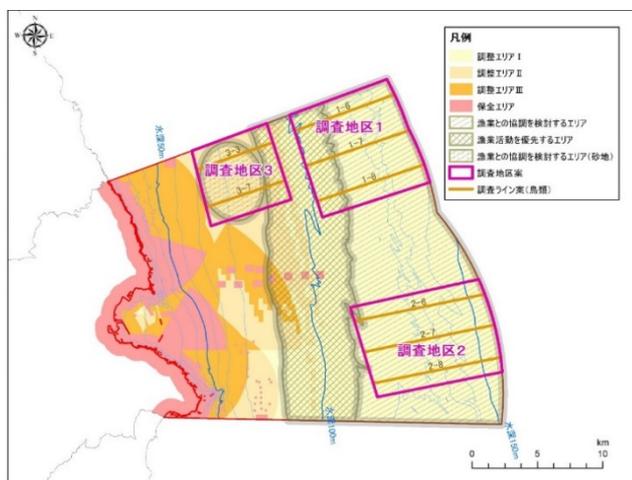
検討結果周知

現地調査内容

基礎調査1 鳥類調査

◆鳥類洋上センサス

船上からの目視確認により、対象エリアの鳥類分布状況を確認する。



調査地点・地区



鳥類洋上センサス実施状況

実施例

項目	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
既存資料調査		■		
計画立案・準備		■		
調査及び結果整理			■ 3季(春・夏・秋)	

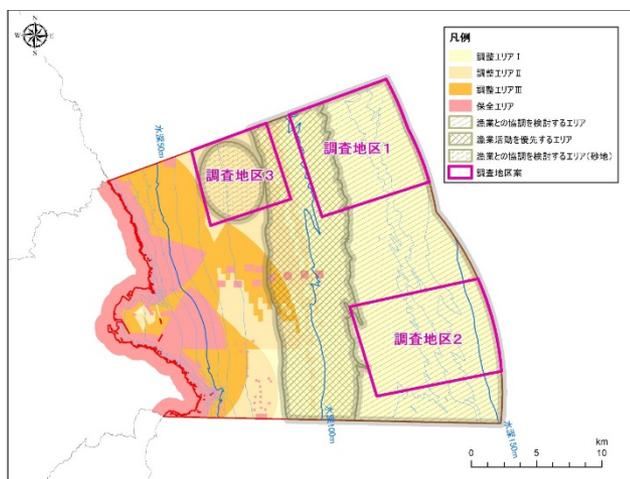
基礎調査2 魚類調査

◆ヒアリング

漁法ごとの漁の最盛期の操業場所と漁獲魚種・漁獲量等、水揚げ状況を把握する。

◆自走式水中カメラ(ROV)による観察・撮影

水中カメラ撮影により、対象エリア数箇所の魚類の生息状況の目視確認を行う。



調査地点・地区



魚類ROV観察調査実施状況

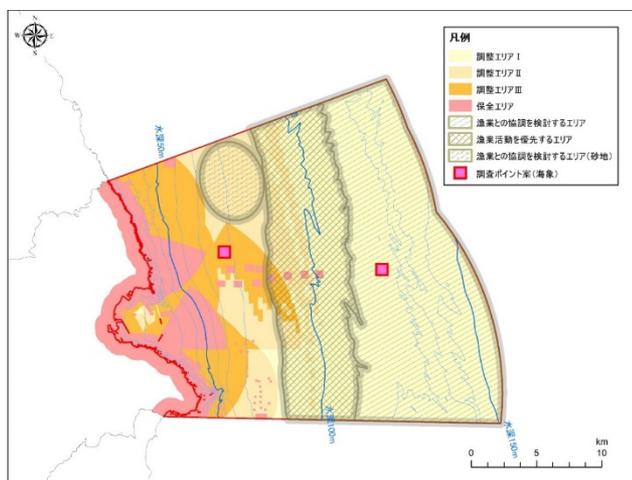
実施例

項目	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
既存資料調査		■		
計画立案・準備		■		
調査及び結果整理			■ 3季(春・夏・秋)	

基礎調査3 海棲哺乳類調査

◆水中生物音響

45日間昼夜連続観測により、海生哺乳類の鳴き声(エコー・ロケーション)の確認を行う。



調査地点・地区



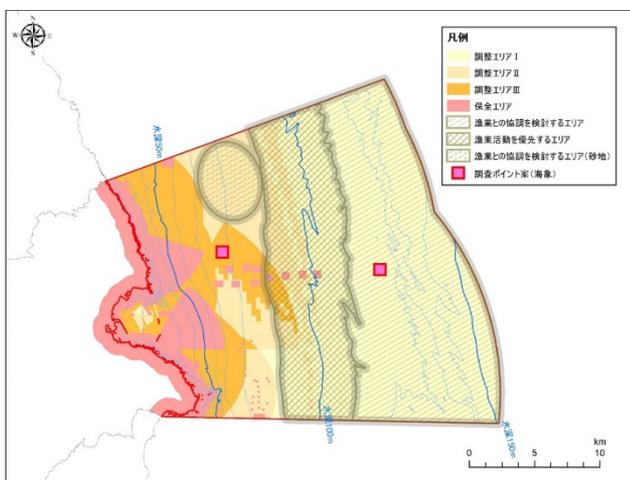
調査機器

実施例

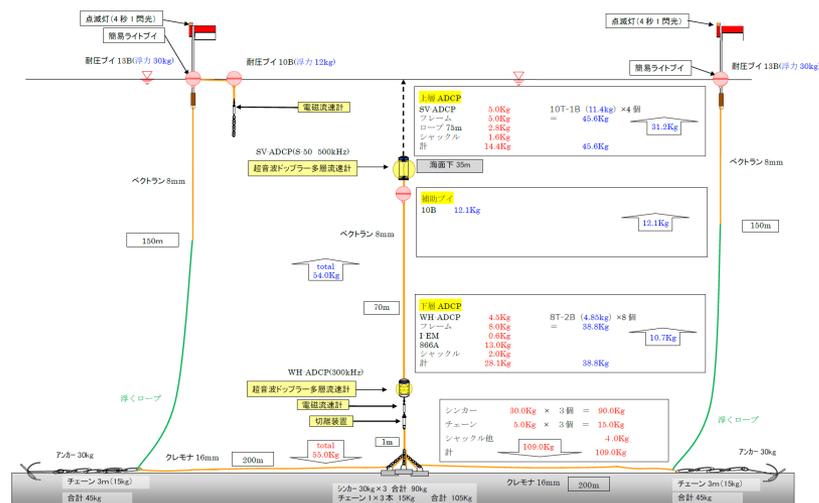
項目	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
既存資料調査			—————	
計画立案・準備		—		
調査及び結果整理			————— 4季(春・夏・秋・冬)	

海象調査

- ◆潮流計・波高計による現地測定
2層、45日間昼夜連続観測による、流向・流速及び波高の観測を行う。



調査地点・地区



機器係留模式図
実施例

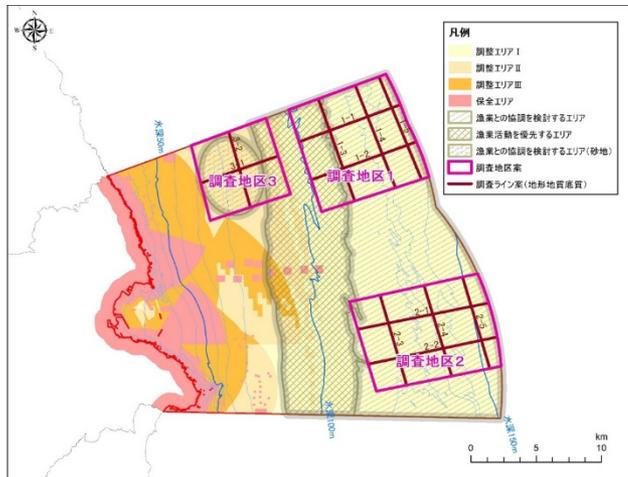
項目	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
既存資料調査			—————	
計画立案・準備	—————			
調査及び結果整理			————— 4季(春・夏・秋・冬)	

海底調査1 海底地層調査

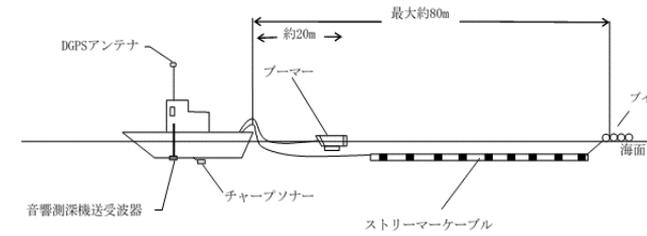
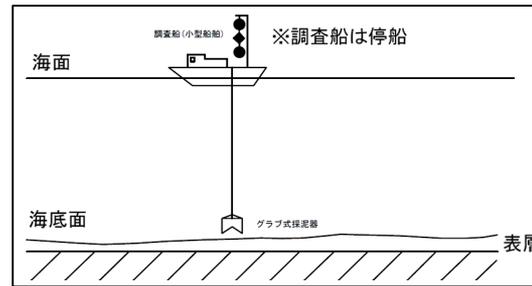
◆音波探査・底質採取調査

音波探査システムによる海底地質プロファイル及び底質の採取・分析を行う。

- ・表層下の地質・地質構造：ブーマー音源による高分解能マルチチャンネル音波探査
- ・表層の詳細地層構造及び底質：チャープソナー探査



調査地点・地区



調査概念図
実施例

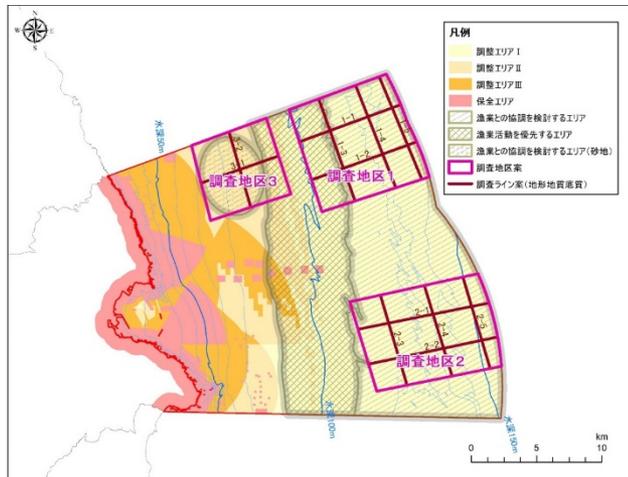
項目	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
既存資料調査		■		
計画立案・準備		■		
調査及び結果整理			■	

適切な時期に1回

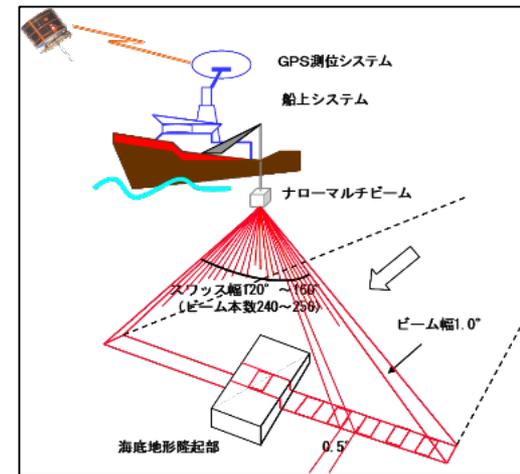
海底調査2 海底地形調査

◆海底地形測量調査

ナローマルチビーム探査システムを用いて、海底地形測量を行う。



調査地点・地区



調査概念図

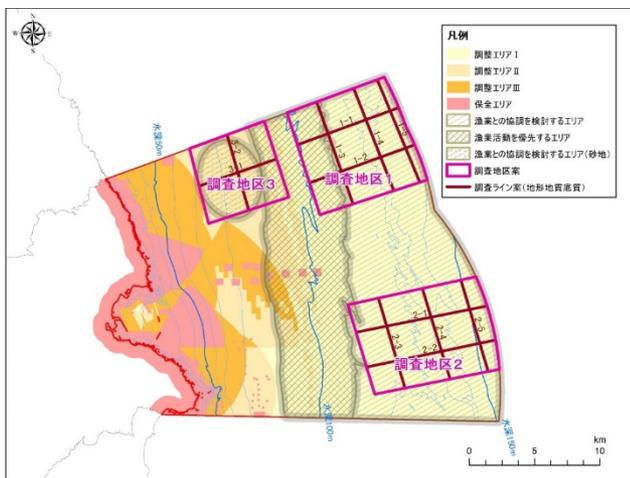
実施例

項目	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
既存資料調査	■			
計画立案・準備		■		
調査及び結果整理			■ 適切な時期に1回	

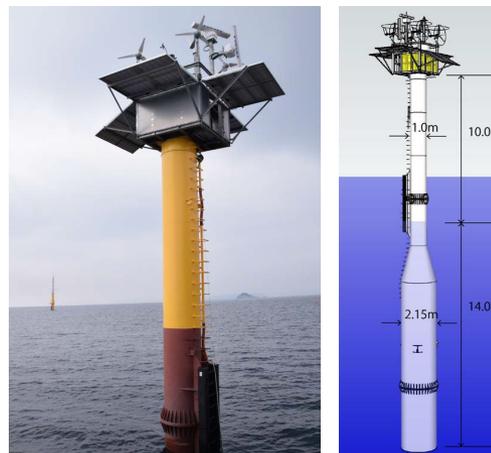
風況調査

◆風向・風速調査

フローティングライダーによる1年間程度の連続観測を行う。



調査地点・地区



出典：NPO法人 長崎海洋産業クラスター形成推進協議会

実施例

項目	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
既存資料調査			—————	
計画立案・準備		—		
調査及び結果整理			1年間連続観測	—————

久慈市 企業立地港湾課

〒028-8030 岩手県久慈市川崎町1-1